

聖書箇所：使徒の働き4：23～33

タイトル：「教会の祈り」

テーマ：信徒たちの祈りによってスタートした教会の働きは、祈りによって進められて行く。

今日の聖書箇所から、教会への最初の迫害というべき事件が起きた時、教会がいかに対処したか、いかに祈ったかを見てみよう。また、共同体の祈りと個人の祈りの関わりを考えることをとおして、教会の祈りとはなんであるかを考えてみたい。

初めに：

1. 文脈の確認

①聖霊降臨後の教会の誕生と成長（使徒1～2章）

②足のきかなかった男のいやしとペテロの説教（使徒3章）

本論：

1. 危機にのぞんで

2. 教会の祈り

3. 祈りの内容

①呼びかけた対象

②旧約への言及

③脅かしを乗り越えるために

④応えられた祈り

⑤心と意思を一つにした共同体

4. 祈りの共同体としての教会

5. 現代の教会が陥りやすい罠

結論と適用

1. 教会の使命としての祈り

2. 大胆に祈るために必要なこと

3. 神の家族として、祈る共同体